

電子・情報機器における安全啓発の取り組み ～より安全な社会の実現をめざして～

朝起きてから家を出るまで、いったいいくつかの製品を使用するのでしょうか。

私たちの暮らしは多くの製品に囲まれており、便利で豊かな日々を送ることができています。

その一方で、東日本大震災から6年の月日が流れ、来る2020年オリンピックの東京開催に向け、スマホの発火事故や原発問題も含め、様々な領域で「安全」に対する社会全体の意識が高まっています。

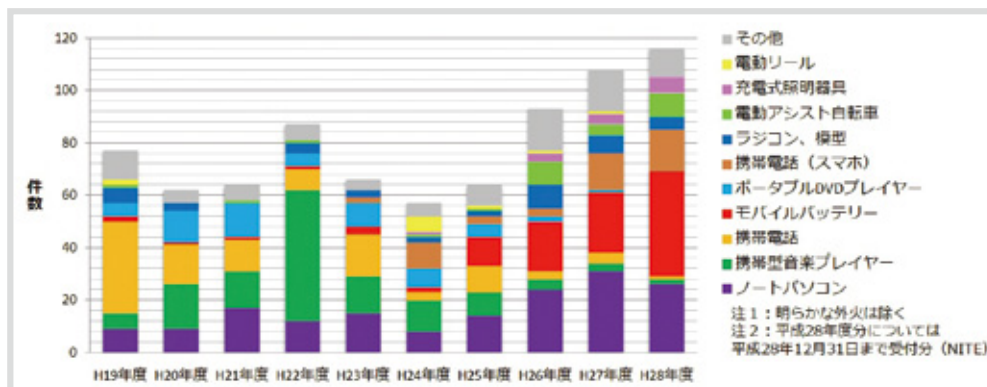
電機製品における製品事故状況

NITE製品事故情報によりますと、日本で発生した重大な製品事故の内、電気製品の火災は平成28年度で507件に上ります。

リチウムイオンバッテリーを発火源とする製品事故は平成24年度以降増加傾向にあり、特に近年、いわゆるモバイルバッテリーの事故件数が増加しています。

近年、社会の安全への意識が強まる中、スマートフォンを使った遠隔操作など、電子・情報機器の多様化・多機能化とネット社会を背景とした消費者行動の変化に伴い、安全な製品の提供への企業に対する要求はますます厳しくなっています。

【リチウムイオンバッテリーを発火源とする製品事故 (非重大製品事故を含む)】



出典元：
経済産業省 第5回 製品安全小委員会

「製品起因の事故」と「消費者起因の事故」

製品自体の安全レベルが向上して来た現在、「製品起因の事故」は減少傾向にあります。その一方で課題になるのが、「製品に起因しない事故」、つまり消費者の過失とされる「誤使用や不注意な使い方の事故」です。

消費者は、製造事業者の意図する使い方を逸脱した使い方をしがちなため、逸脱した使い方をしないように意図した使い方の範囲内にとどめさせるために、製造事業者は必要に応じて取扱説明書及び警告ラベルを通じて消費者に警告することが不可欠です。製品安全を実現するには、消費者にも製造事業者が推奨する正しい使い方をするという一定の責任がありますが、警告ラベルや取扱説明書に情報の不足があれば、その責任を阻害することになってしまいます。消費者が安心して製品を使用できる条件は、当該製品の安全対策がどの程度できていて、どのような残留リスクが存在するかを知らされており、そのリスクによる危険を回避するために、使用時に注意すべき事項の情報を全て知っているということです。

すなわち、悪い状態を知らないで行動しているよりも、悪いことも良いことも全て知ることによって、自分自身の行動原則を決定することができ、安心に繋がる安全性を実現できるということが考えられます。



JEITAの安全啓発の取り組み

このような状況において、「安全PR・WG」では、より消費者目線での製品安全のあり方を追求し、消費者の皆様へ製品を安全にお使いいただくための大切な情報を提供しています。JEITAホームページ「製品を安全にお使いいただくために」では、テレビやパソコン、オーディオ機器などの「正しい使い方」、および「危険な使い方にご注意」等を掲載し、適切かつ迅速に、消費者へ幅広い安全啓発活動を展開しています。

【季節ごとの日常のご注意】

今年新たな取り組みとして、「季節ごとの日常のご注意」のホームページを開設しました。こちらのページには、春・夏・秋・冬のそれぞれの季節において注意が必要な内容について記載しています。

例えば、春は「新生活」「引っ越し」「模様替え」、夏は「暑さ・雷」「旅行・アウトドア」「子供のいたずら」といったテーマで、製品を安全にお使いいただくために適切な情報提供を順次紹介しています。

【季節ごとの日常のご注意(夏)】



<http://www.jeita.or.jp/japanese/anzen/pdf/summer.pdf>

より安全な社会の実現をめざして

技術が多様化・高度化し、経済がグローバル化した現在、安全性の高い社会の実現が世界的潮流になっています。製品の製造事業者は、製品事故を未然に防止するための広い視野からの検討が社会的に求められており、安全で安心して使える製品を提供することは企業の社会的責任であり、製品安全の積極的な取り組みが望まれます。

今後もすべてのJEITA製品について、独自の「製品安全に関する自主行動計画」に基づき、さらに安全性を高め、消費者に安心して製品をご使用いただけるよう努めていきます。

安全PR・WG（主査：薄井 育正/日立製作所）
製品安全に関わる国内外の環境変化（商品の多様化、社会的要求の変化等）を踏まえ、リスクコミュニケーションの実践の一環として、警告表示等の安全啓発に関する調査・研究、業界として取り組むべき課題の抽出と対応策の情報発信を行っています。

【JEITA 製品安全に関する自主行動計画】



<http://www.jeita.or.jp/japanese/anzen/safeplan/index.html>

【製品を安全にお使いいただくために】トップページ



<http://www.jeita.or.jp/japanese/anzen/index.html>